

「今」命を守る

いざ、というときの行動

本章は、災害が発生する可能性が高まっているときに確認していただきたいことがまとめてあります。



**災害が起きた時には
どのように行動したらいいの？**



**避難が遅れると命にかかわります。
まずは、自分の命を
守ることが大切です。
災害ごとの行動を確認しましょう。**

Q どうやって避難したらいいの？

A 避難とは、「命を守るための行動」です。一人ひとりが災害発生時の危険度を理解し、的確な避難行動ができるように、避難情報や防災気象情報等を5段階の警戒レベルで伝えています。右の表を参考にし、避難行動を確認しましょう。



ポイント ● 隣近所で声を掛け合って、「警戒レベル3 高齢者等避難」、「警戒レベル4 避難指示」で安全・確実に避難を終えましょう。

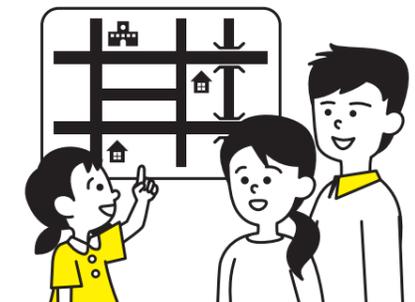
警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。また、能美市では防災気象情報のほか現場の状況などを総合的に判断し、避難情報を発令しているため、防災気象情報が発表されたら必ず避難情報を発令するとは限りません。

- 市から避難情報が発令されていない場合でも、防災気象情報を参考にして、適切な避難行動をしましょう。
- 立退き避難がかえって命に危険を及ぼす場合は、近隣のより安全な場所や建物への避難やその建物で安全な部屋へ移動し、命が助かる可能性の高い避難行動をしましょう。



命を守るためにとるべき行動

高	警戒レベル	避難行動等	避難情報等 (能美市)	気象情報等 (気象庁等)
	警戒レベル5	すでに災害が発生している状況ですので、命を守る最善の行動をとってください。	緊急安全確保	
危険度	警戒レベル4	対象地域の方は全員速やかに避難してください。	避難指示	※警戒レベル相当情報の発表 氾濫発生情報 大雨特別警報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報 など
	警戒レベル3	避難に時間がかかる高齢の人や障がいのある人、避難を支援する人などは安全な場所へ避難しましょう。 また、土砂災害の危険性がある地域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いに住んでいる人も、避難を検討しましょう。それ以外の人もいつでも避難できるように準備をしましょう。	高齢者等避難	
低	警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認しておきましょう。		洪水注意報 大雨注意報などの発表
	警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。		(大雨警報などの)早期注意情報の発表



地震

Q 地震の時はどのように行動したらいいの？

A 地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、まずは頭を保護しながら、丈夫な机の下などに隠れるなどあわてずに身の安全を確保してください。



- 避難する時は電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉め、家の戸締りをしましょう。
- わが家の安全を確認後、隣近所にも声をかけて安否を確認しましょう。
- 余震に注意しましょう。

Q 津波の時はどのように行動したらいいの？

A 「津波警報」等を見聞きしたら、海岸から離れて、可能な限り高い場所や近くの高台や津波避難タワー、津波避難ビルなどに避難しましょう。



- 海水浴等により海岸付近にいる人は、「津波注意報」でも避難しましょう。
- 津波は一度だけではなく、複数回発生する可能性があります。津波警報・注意報が解除されるまでは決して被災地域には立ち入ってはけません。



津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の 津波の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や津波避難ビルなど 安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返して襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、 より高い場所を目指して避難しましょう!
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)		海の中にいる人は、ただちに海から上がって海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

風水害

Q 大雨・台風の時や土砂災害が発生しそうな時はどのように行動したらいいの？

A 住んでいる地域に土砂災害警戒情報や氾濫危険情報等が発表されたら、市からの避難指示等に注意しましょう。また、土砂災害や川の氾濫などの災害は一気に起こるため、避難が遅れると命にかかります。特に避難に時間を要する人と支援する人は、移動時間を考えて早い段階から自主的な避難を検討しましょう。



- 夜中に大雨が予想される場合には、安全のために暗くなる前に避難しましょう。
- やむを得ず、浸水している場所を歩く場合は、マンホールや溝、道路のくぼみに注意しましょう。
- 暴風や浸水で避難場所までの移動が危険な場合や避難が遅れた場合は家の中でできるだけ安全な場所(崖から離れた2階の部屋)で待機、近くのできるだけ頑丈な建物に避難することも検討しましょう。



避難・備蓄

Q 避難時の持出品には
どんな準備が必要なの？

A 避難時に持ち出すべきもの(持出品)をあらかじめ準備し、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。また、避難の際の持ち物は最小限にして背中に背負うなど、両手が自由に使えるようにしておきましょう。

非常用持ち出しバッグの内容の例

食料

- アルファ米、缶詰、お菓子など、運びやすく火を通さずに食べられるもの



水

- 自分で運べる量のペットボトル入りの飲料水



薬

- いつも服用している薬とお薬手帳、虫よけ、消毒液、ばんそうこう、かぜ薬など



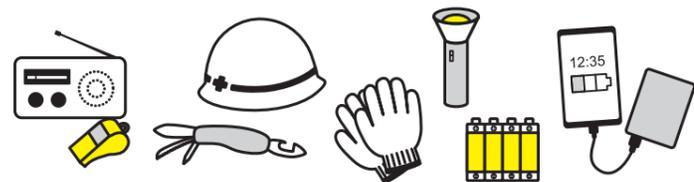
貴重品

- 現金、通帳、印鑑、身分証明書、家の鍵など



役に立つ道具

- 携帯電話の充電器、懐中電灯、携帯ラジオ、笛、生理用品、タオル、着替え、乾電池、万能ナイフ、ヘルメット、軍手、ウェットティッシュなど



Q 避難情報はどのように伝えられるの？

A 市が避難情報を発令した場合には、テレビやラジオ、インターネットのほか、防災行政無線や広報車などで伝達されます。「警戒レベル3 高齢者等避難」、「警戒レベル4 避難指示」が発令された場合、その地域にいる人は、隣近所で声を掛け合って、安全・確実に避難してください。



例えば、能美市は土砂災害警戒情報の発表によって「警戒レベル4 避難指示」を発令した場合、防災行政無線では次のような内容で避難行動を呼びかけます。

こちらは、能美市です。

現在、能美市には、土砂災害警戒情報が発表されており、さらに土砂災害の危険性が高まったため、警戒レベル4 避難指示を発令しました。

対象地域は、〇〇町です。

町会長の指示に従い行動してください。

なお、避難所は□□です。

速やかに避難を開始してください。

道路の冠水などにより、避難所への移動が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、家の中で、崖や斜面からなるべく離れた部屋や2階など安全な場所に移動してください。

また、避難の際には、食料や飲物、タオル、薬など身のまわりに必要なものを各自持参してください。

これは、警戒レベル4 避難指示の発令です。

※放送文は状況によって放送内容を変更する場合があります。

